

(特活) とよなか市民活動ネットきずな 11月定例会の結果報告 2011-11 - 24 市民活動情報サロン

1. 経過報告と協議事項など

(1) 2011年度市民活動情報サロン受託関係

- ・ ウィークリーサロン = 今期のテーマ 「サロンで交流」、「地域で交流」。結果は次ページ

11月15日、「市民公益活動団体助成金交付団体と交流」。

11月17日、「地域の活動場所をたずねて - 子どもたちがのびのび育つ環境づくりの学びや交流の場所を開設している団体を訪問して意見交換 - 」教育ボランティアけやきの会「けやき亭」

- ・ 11月15日、16時から、コミュニティ政策室とミーティング...1月、2月のウイークリーサロンは、ステーション事業とショーウィンド団体に参加してもらう。

(2) 「ポスト・とよなかの市民活動ガイドブック」「共同デスク」

- ・ 「分野をこえた」共同デスク(編集部)として、11月20日、壁新聞第1号発表。
- ・ 壁新聞第2号は、「ふらっと、立ち寄れて、自由な交流や意見交換ができるスペース」として取り組まれている、「社会福祉協議会...ボランティアカフェ」、「国際交流協会...哲学カフェ」、「きずな...情報サロンの地域の活動場所をたずねてシリーズ」3箇所を取材して、編集していく。
- ・ 次回打合せは、12月22日(木)13時30分~

(3) 構想研究会

- ・ 11月16日、平尾から「もう一つの価値観から社会(地域社会)を構想(空想)する」(各論)、「中間支援活動の課題 福祉活動をケース」で、意見交換。
- ・ 次回は12月14日(水)19時00分~、「中間支援活動の課題 教育をケース」、蛍池「ぱすと」。

(4) 豊中の市民文化を支える会「2011市民文化祭実行委員会」

- ・ 2011市民文化祭 12月3日(土)、13時~16時。すべてホール。後援(財)とよなか男女共同参画推進財団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21、豊中市労働組合連合会、きずな。
- ・ 現在の参加予定グループ マロン・ド・アンサンブル(歌)、童謡ひよこの会(下駄タップ)、岡町童謡れすとらん「どれみ」(コーラス)、きんぎょーず(連弾)、童謡ひよこの会(日舞)、くりの木コーラス(童謡)、アンサンブル・ピポー(リコーダー演奏)、ティアレ(フラ)、Oriental Dance Studio Satomi(ペリーダンス)、Hip Mom Do(ダンス)、カレイレファ(フラ)、K2(フリースタイルダンス)

(5) きずなホームページ・トップページの再構成

- ・ 9月以来、トップページの再構成について詰めてきたが、会員の思いの情報発信をはじめ、「きずな」と連携している団体の情報発信等、工夫していき、ホームページブログのきずな文庫など冊子化をめざす。
- ・ ボタン位置の並び替えに合せ、会員にパスワードを郵送で通知した。

(6) その他

- ・ 大阪ボラ協「新しい公共NPO、ボランティアグループのためのレベルアップ講座」きずなも協力。
- ・ 市民活動のマネジメント講座...12/18~2/4、5回の講座(「市民参加による地域づくり」や団体の活動状況、市の制度の紹介、ワークショップなど)、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21が開催。
- ・ 北摂NPO・高槻で交流会。11月13日(日)、永田、平尾が参加。来年は、豊中で開くことになった。
- ・ ヤング会員の足立くんが取り組み中の「和歌山台風12号災害支援ボランティア」報告のサポート。
- ・ 坂上さんから、障害年金支援ネットワークの活動の壁となっている、制度をPRする国や自治体の窓口体制やPR方法の問題点が提起され、制度の中身から若者の年金への関心など色々議論。

2. その他・連絡事項・スケジュール

12月のウイークリーサロン

- ・ 12月8日(木)18時30分~20時30分「市文化芸術振興基本方針についての意見交換会」

きずなの会議

- ・ 拡大事務局会議 = 12月7日(水)19時~、サロン。
- ・ 定例会&忘年会 = 12月20日(火)19時~、蛍池・ぱすと。

(記録) 11月のウィークリーサロンの結果概要

市民活動交流サロン—市民公益活動団体助成金交付団体と交流

1. 各団体から活動概要などの紹介

ハンドベルチーム myu...25年ほど前、日本の学校教育の中からこの器楽演奏スタイルは生まれた。助成金事業は小学生向けの公募で講座5回を実施後、チームとして、発表会のほか、老人ホームを訪問とかチャリティコンサートを開いた。

豊中平和演劇祭実行委員会...劇団「金太郎飴」や「萌」などが委員会を結成。今回は、若い人たちが劇づくりや出演などを通じて、過去の戦争を知ったり、学んだりできるワークショップなども交え、年間を通して活動で、すそ野を広げてきた。

とよなか地球一周フォーラム...国際結婚等で、地域に暮らす外国人が増えているが、経済的な不安定に加えて言葉や文化など交流機会も限られた人たちも少なくないなか、親子で参加できる料理教室(6回)などを工夫して開催中。

NPO 法人成年後見支援普及センター...「成年後見制度」については、具体的に制度を使う場合の判断や考え方など、浸透していないので分かりやすい解説書を作るため助成金を申請した。今は、「市民後見人づくりの講座等に取り組み中。

蛍池・遊びのプロジェクト...子どもたちが育った郷土のことを知っていくために「カルタ」をつくった。町名や池・公園・神社やお寺など風物を織り込んだ言葉と、それを表現した絵札を300組作った。これから、カルタの本番シーズンを迎える。

ゆいゆい会...子育てグループだが、沖縄の島唄などを楽しむ活動からジャズも若者音楽も交えた「海を越えた音楽会」をひらくことにした。助成金では、エイサーなどに使う手持ちの太鼓「パーランカー」を買った。

2. 意見交換

市からの助成金をえている事業であることで、蛍池の場合、例えば、学校に協力のお願いに行く時など、活動に対する「信用」感を示せた。助成金の使用範囲が活動費とか事業費に当てなければいけないことになっているため、運営費用に回せないところがつらい。助成金の申請では、書類を作成することになるが、書類を書いていくことで、これまでやってきたことの振り返りができた。その他、活動した結果が、活動に関った人たちにどう受け止められているか、アンケートをする場合、どんな風に聞いていけばいいか、意見交換した。

地域の活動場所をたずねて 教育ボランティアけやきの会「けやき亭」(千里園 2-1-37)

1. 教育ボランティアけやきの会から、パワーポイントを使って活動概要などの紹介

2002年5月、子どもの教育に関する諸問題について勉強・談話してきた。現在も会の代表をされている梶本さん(当時京大教授)から「定年後に仲間が集まってなにか社会にお役立ちが出来ないか」呼びかけで、北野高等学校同窓73期のなまかが集まり始めた。会の名称は、「Project-K」、以来、定例談話会を開催してきた。

2003年12月20日には、集まって議論する中から共通テーマとしてでてきた「ゆとり教育と学力低下問題」と題して、京都大学の上野健爾先生の講演会を、北野高等学校同窓会館3階ホールで開いた。講演会活動のはじまり。

2006年には、梶本さんが大学を退職、ちょうど隣家の空き地を確保できたので、この活動の拠点として、プレハブ建ての「けやき亭」がつくられた。翌年から定例談話会のほかに、メンバーが講師になり、仕事で培ってきた様々な興味深い知識について紹介する「土曜サロン」を開いている。

2007年の講演会は、「子どもたちのための暖かい家庭・社会環境作りに向けて - 新たな社会的セーフティネットづくりの必要性 -」をテーマに、大阪樟蔭女子大学学長の森田洋司氏を招き、10月6日、「すてっぷホール」で開いた。社会の問題を中心テーマに据えることもあって、これまでの北野高校の同窓会館から、街のホールで開くことにしたもの。会の名前も「教育ボランティアけやきの会」と改め、新しいスタートを切ることになった。

会としては、子どもたち向けに「対象基礎学力補強のためのサポートを行うボランティア活動」また、学校及び先生方向けに「魅力ある教科展開のためのサポート(実験法や社会的知識)」などにも、取り組んでいる。2009年からは、理科系科目の出前授業と授業補助として、「理科サロン」をはじめた。

2. 意見交換

これからの課題として、大変忙しいといわれる小中学校の現場の先生たちとの交流がある。この課題をめぐって若い人たちと高齢者のギャップなど色々話合った。